



人は、話す言葉が9割？！

「人は、見た目が9割」これは、よく耳にする言葉です。この言葉に納得する場面もありますが、見た目だけでは人は判断できないということもあります。

これ以上に感じるのが、「その人が使う言葉」です。対話しているうちに見えてくる姿は、その人そのものだということです。人が対話するとき、必ず使うのが言葉だからです。その言葉が、その人を表し、相手に認識されるわけですから、当然相手に与える印象として、言葉は見た目以上に重要となってくるのです。

東町小学校の子どもたちに伝えていることは、

- ① 相手呼び捨てにしない。(～さん)とつける。【相手を尊重する】
- ② 相手を傷つける言葉は使わない。【相手の人権を尊重する：自分を大切にすることにつながる】
- ③ 言葉を発する前に一度考え直す。【気づきを大切に！ 考え、行動する子は伸びる！！】

最終的には、その発する言葉が自分そのものになっていきます。子どもの側にいる私たちは、常に子どもたちに見られています。東町小学校では、教職員も子どもの手本となれるよう自分が発する言葉に意識しながら、子どもたちと関わってまいります。地域や保護者も、子どものモデルとなれますように。 校長

子どもの行動に、どんな対応をしていますか？

親のイライラは、何から起こりますか？ どのような場面で、子どもにイライラすることがありますか？

【例】 □朝、起きるとき □朝食を食べるとき □登校準備をするとき □家庭学習のとき □寝るとき
一日中、子どもの行動に気になる方も多いのではないのでしょうか。

子どもが社会性を身に付けていくためにも、いくつかのきまりや約束は必要ですが、親が過剰な制限やきまりを勝手に決めると、子どもの抵抗や敵意を買うことになってしまうのです。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| ☆ <u>気持ちよく一日のスタートをきる。</u> | ★寝る時間を早め、睡眠時間(9～12時間)を確保する。 |
| ☆ <u>子どもに「早く！」は、通じない。</u> | ★現実的な時間の制限を伝え、子どもに時間の管理を委ねる。 |
| ☆ <u>食事中のしつけは、後回しにする。</u> | ★親は、栄養のある食事を与えることが役割と捉え、時を待つ。 |
| ☆ <u>下校後は、温かく迎える。</u> | ★「学校はどうだった？」から、子どもの表情を伝えるコメントへ。 |

子育ては、日々の小さな積み重ねであり、親の対応により子どもの人格の形成や自尊心の成長に影響を及ぼします。子どもの行動には、全て意味があります。その行動に対して、親が愛情深く、子どものことを思っ

「育てたように子は育つ」：笑顔の親に、挑戦する子どもあり！

親は、子どもとの関わり方にちょっとした意識をもつだけで、子どもの将来は大きく変わります◎